

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 14 日 (16 : 50～17 : 05)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	2 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画  
・限られた職員数だが、おやつの時間等に職員が利用者の中に入り、出来る限り利用者との関係作りの時間を持つようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・送迎時に家族から確認したことや、本人から聞いたことは、その日のミーティングで話を行い、職員間でも情報共有をおこなっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	3	0	0	9
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	5	4	0	0	9
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	5	4	0	0	9
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	6	3	0	0	9

できている点  
・カンファレンスやミーティングで、利用者情報を職員間で共有している。  
・カンファレンスやケアプランに基づき、個別援助計画を作成し、同意を得たうえでサービス提供している  
・本人の趣味や特技を活かしたレクリエーションや軽作業を提供し、利用者自身に役割観を与え、施設の環境作りを工夫している。  
・声掛けや傾聴、他利用者との交流のフォローなどにより、本人のペースに合わせ対応している。

できていない点  
・利用者自身と家族の考え方が違い、求めている支援に食い違いがある場合、事業所としても対応が難しいと感じる。

次回までの具体的な改善計画  
・利用者と接する時間を持ち、利用時の利用者自身の状況や意向を確認する。  
・利用者自身と家族の意向の違いを、職員が間に入りパイプ役となりながらサービスをすり合わせ支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 15 日 (16 : 30 ~ 17 : 10)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	4 人	3 人	0 人	9 人

前回の改善計画
・ 本人と関わる時間を増やし、気づき (ニーズの把握) の機会を多く持ち、本人の目標を引き出す。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ レク活動時やおやつの時間等、本人から得た情報はミーティングで情報共有を図っている。 ・ 定期的にカンファレンスを行い、改めて本人の状態等の再確認を行う

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	1	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	1	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	2	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	4	0	0	9

できている点
・ 個別援助計画について、定期的にカンファレンスを実施。「長期目標」「短期目標」を把握し支援している ・ 日々の利用者との交流を通し、収集した情報に基づき、本人の望む事、したい事を理解している。又ミーティングにて、実践の振り返りや次の検討をしている。

できていない点
・ 利用者自身、なかなか口に出して本当のことを話さない時があり、本人のやりたいことが引き出すことが難しい。 ・ 利用者自身の詳細な生活歴や得意なこと (本人の持つ強み) を把握しきれていない。 ・ 人事異動などで、新しい職員が来たとき、始めは日々の業務に追われ、個別援助計画など見る機会が来ず、本人の目標を把握しきれていないことがある。

次回までの具体的な改善計画
・ 新しい職員が来たときには、始めに通常の業務内容の他に、個別計画書などについても説明を行い、本人の目標などを把握して貰い、通常の業務の中でも意識づけできる体制を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 15 日 (16 : 30~17 : 10)

3. 日常生活の支援

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	1 人	2 人	9 人

前回の改善計画
・本人を中心とした支援を、家族と話し合い、理解しあえる機会を持つ。そこから新たに気づき、アセスメントを充実させ、サービス提供につなげる
前回の改善計画に対する取組み結果
・送迎時に家族と顔を合わせた時や、手帳にて本人の状態を連絡している。又、ケアマネが家族と相談したことは、職員も情報共有し支援にあたった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	4	4	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	3	1	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	1	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	5	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	0	0	9

できている点
・利用時、訪問時は、バイタル測定を行い健康管理に努めている。体調不良時には、家族へ直接連絡を取り、受診をすすめる等、早めに対応している。 ・介護状態の変化に伴い、お粥・刻み食を提供し、臨機応変に対応できている。 ・利用者の状況・状態に変化などが見れてた時には、ミーティングで話し合い、職員間で情報の共有を図っている。

できていない点
・利用者の自宅での様子が把握しきれていない。また、聞き取りを行っても、利用者自身忘れていたり、家族もわからないことがある。 ・家族の都合で、利用を行っている場合は、利用者自身納得できていないことがある。 ・家族と、情報の共有を図る場が少ない ・仮説から復興住宅への引っ越しなど、震災後からの利用者の環境も変化。家族が遠方に住んでいたり、仕事などで、利用者の状態を把握しきれていない。

次回までの具体的な改善計画
・利用者の状態など、送迎等で家族と顔を合わせた時や手帳を活かして、情報の共有を図る。 ・ミーティングなどで、職員間の利用者に対する情報共有を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 15 日 (16:30~17:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	3 人	2 人	9 人

前回の改善計画	・利用者の地域の民生委員や社会資源を、職員全員が把握することから始める
前回の改善計画に対する取組み結果	・

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	3	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	1	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	3	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	4	0	9

できている点	・利用者宅の近隣にある集会場や商店など、どのような場所があるか、本人・家族との会話の中である程度把握している。 ・カンファレンスや認定調査表に目を通し、これまでの生活歴を把握している。 ・事業所以外でのお茶会や地域のイベントに参加し、他者交流ができていない利用者について把握している
--------	---

できていない点	・利用者のこれまでの生活スタイルや、人間関係を理解できていない。また、情報収集を行うにも限界がある。 ・住んでいる地域の民生委員は知っているが、全体的に把握していない。 ・利用者周囲で関わりを持っている人の把握ができていない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・職員が、地区の民生委員が誰なのか、名簿など準備する。 ・事業所以外で利用している地域資源 (例、生活支援相談員など) とともに、連絡をし合い連携を取っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 15 日 (16 : 50 ~ 17 : 15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	1 人	2 人	9 人

前回の改善計画
・職員が余裕をもって働ける体制を整えることや、地域の社会資源を把握し、利用者に柔軟な対応が出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・家族や本人から緊急の利用希望に対し、追加の訪問や泊まりの対応を行ってきた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	1	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	4	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	4	0	0	9

できている点
・利用者、家族の状態、状況に応じて急なことでも柔軟に対応している。 ・利用者の体長不良の状態を記録に残し、対応出来るように話し合いができています。 ・近隣でのイベントなどへの参加や見学を行うこともある。

できていない点
・地域資源を活用している利用者にたいして、他の資源との情報共有が不足している。 ・震災の影響もあり、自治会組織が再生できていない。 ・地域の資源を使っての支援をしていない

次回までの具体的な改善計画
・利用者が利用している地域資源を把握し、まめに連絡を取り合う。 ・地域の社会資源の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 21 日 (8 : 15 ~ 8 : 25)

6. 連携・協働

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	7 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントをチェックし、細目に参加する機会を作る。</li> <li>・会議に積極的に参加する機会を作る。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設で足湯のボランティアが来た際には、住民の方の参加があった。</li> <li>・4月に地区の会議に参加。人事異動で、管理者が変更になったこともあり顔合わせを行うことができた</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	3	3	0	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	4	3	1	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	4	2	1	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	3	5	0	9

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの見学、他事業所の集まり、防災訓練等、地域活動への参加を行っている。</li> <li>・当事業所のイベント等を通して、地域の登録者以外の高齢者や子供たち等に声掛けし、事業所に来てもらっている。</li> <li>・管理者が地域の会議や他のサービス機関との会議に参加し、ミーティングで内容を共有している。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子供たちの訪問が無い。</li> <li>・地域包括支援センターとの会議に参加する機会がない。</li> <li>・地域住民が多く訪れる事がない。</li> <li>・ミーティング等で情報共有をする事があっても、会議には参加出来ていない。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等がある時は、地域住民が参加しやすいように開催の周知の方法などを工夫する。</li> </ul>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 21 日 (8 : 30~8 : 40)

7. 運営

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長や民生委員等と、積極的に意見や情報交換できる機会を作る。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設がある地区の自治会長とは、何かの折に近くに住む利用者の情報を頂き、施設内でも情報共有し支援を行ってきた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	6	2	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	3	1	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	3	1	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6	2	0	9

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望に対してミーティングで話し合い改善している</li> <li>・個々の問題やニーズに適切に応じることができるよう、ミーティングやカンファレンスで意見交換を実施している。</li> <li>・地域の会議に場所の提供をしている。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の地域の要支援者を把握する事が難しい。</li> <li>・緊急時の避難所となっているが、大雨の場合は施設のある地域に避難指示がでるため、避難所として利用出来ない事もあるため、地域との協力した取組みが難しい。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の会議に参加する等、地域の自治会との意見交換の場を作る。</li> </ul>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 21 日 (8 : 40~8 : 45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	5 人	3 人	0 人	9 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・職場内研修の継続</li><li>・職員も地域の集会等にてできるだけ参加し、地域の社会資源や活動を知る。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・職場内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努めてきた。職場外の研修に参加した職員は、ミーティングの中で報告し、他の職員も学ぶことができる。</li><li>・職員同士が、業務中も声を掛けあいリスクマネジメントに努めてきた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	4	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	4	3	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	3	1	1	9

できている点
<ul style="list-style-type: none"><li>・職場内外の各研修の実施・参加へ積極的に行い、スキルアップを図っている。</li><li>・研修も含め、職場内でのミーティングにて、リスクマネジメントを行っている。</li></ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"><li>・日々の生活の中での工夫が不足し、資格取得やスキルアップは難しい。</li><li>・地域連絡会に参加する機会がない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・各職員がスキルアップにつながるように、職場内外の研修参加を継続する。</li><li>・日々のミーティングなどで、職員が意見を出し合いリスクマネジメントに繋げる。</li></ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 21 日 (8 : 45~8 : 55)

9. 人権・プライバシー

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	1 人	0 人	0 人	9 人

前回の改善計画
・これまで以上に、人権、プライバシー保護に最新の注意を払い、利用者の人権を尊重したケアを提供する
前回の改善計画に対する取組み結果
・ミーティング等で、利用者の話を行う際は、他の利用者に話が漏れない様に注意を払い、施設内でも個人情報情報が漏れいしない様に対応した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1	0	0	9
②	虐待は行われていない	9	0	0	0	9
③	プライバシーが守られている	9	0	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	1	0	0	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	0	0	0	9

できている点
・身体拘束や虐待は行われていないが、夜間等の限られた時間で転落防止の為、家族に了承を得た上で四点柵を使用することもある。 ・個別ファイル、PC 内の情報については、プライバシー保護に中意を払い、管理している。 ・職場内で虐待についての研修を行い、職員の虐待についての理解を深める。

できていない点
・転落の危険性を考え、四点柵をしている事がある。 ・独居の利用者で、後見人が必要と思われる方がいる (但し、本人は希望していない)

次回までの具体的な改善計画
・転倒などの事故を起こさない様に、必ず家族と相談し了承を得てから対応する。 ・職員同士が声を掛けあい、個人情報の管理を徹底する。